
ハイウェイサイドタウン地区 避難計画

－土砂災害編－

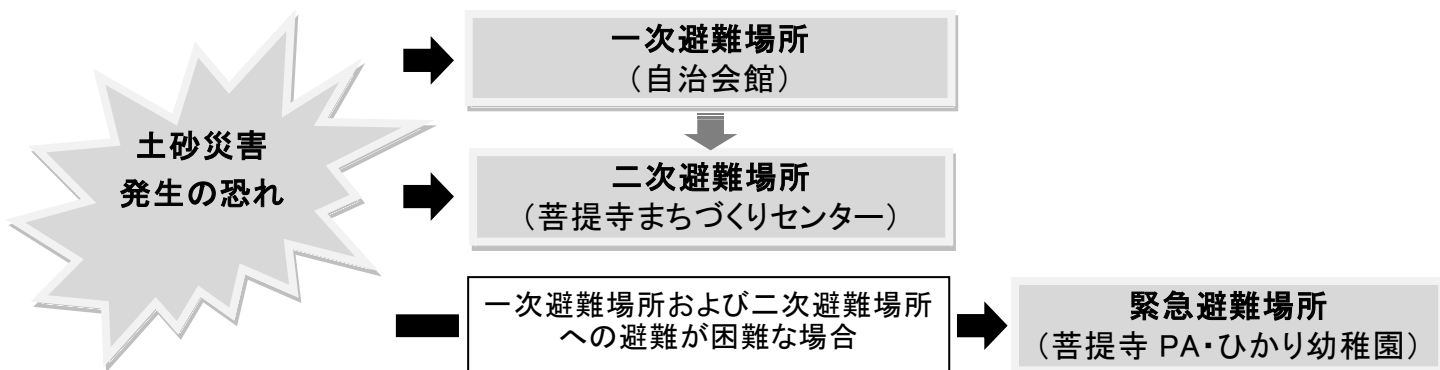
平成 28 年 3 月

ハイウェイサイドタウン自治会

土砂災害から自分の命を守るために。

これだけは知っておきましょう！

土砂災害時の避難場所と避難場所選定の考え方



避難の判断と行動

段階	取るべき行動
大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報が発表されたとき	<ul style="list-style-type: none">テレビやインターネット、携帯電話などで、<u>雨量や土砂災害などに関する情報を取得</u>しましょう。近くの<u>避難の目安箇所の状況を確認</u>しましょう。ただし絶対に無理をしないように。非常時持出し品や避難場所などの<u>確認</u>しておきましょう。家族の<u>居所を確認</u>しておきましょう。
避難準備情報が発令されたとき	<ul style="list-style-type: none">避難準備情報の発令については、地区放送などはありません。<u>NHK放送や湖南 Town-Mail、しらがメールで情報を確認</u>してください。いつでも避難できるように各自<u>準備</u>を行ってください。避難支援者は、市が認定した避難行動要支援者の方の自宅へ集合し、本人、家族の意向を確認した上で、<u>避難支援</u>を行ってください。また、<u>結果を自治会長へ連絡</u>してください。
避難勧告、避難指示が発令されたとき	<ul style="list-style-type: none">市より、防災無線のサイレンが鳴らされます。<u>5秒間隔でサイレン(15秒間)が3回鳴ります</u>。<u>NHK放送や湖南 Town-Mail、しらがメールで情報を確認</u>してください。<u>避難場所へ速やかに避難</u>してください。<u>お年寄りや子どもの避難支援など、地域で協力し合って避難</u>を行ってください。基本的には<u>一次避難場所(自治会館)または二次避難場所(菩提寺まちづくりセンター)へ避難</u>してください。これら避難場所への避難が困難な場合は、<u>緊急避難場所を利用</u>してください。避難が完了した人は、災害対策本部(自治会館・0748-74-2489)へ<u>報告</u>してください。避難場所には、世帯リストがありますので、<u>各世帯で何名の方が避難したかを報告</u>してください。
屋外への安全な避難が間に合わないとき・逃げ遅れたとき	<ul style="list-style-type: none">屋外への安全な避難が間に合わないと判断したときは、<u>家のできるだけ上階で、山の反対側の部屋に直ちに移動</u>してください。<u>逃げ遅れたことを自治会役員に報告</u>してください。<u>救助が必要な場合は、119番に通報</u>してください。

ハイウェイサイドタウン地区 避難計画

－土砂災害編－

【目次】

1. 避難計画（土砂災害編）の目的.....	1
2. ハイウェイサイドタウン地区における土砂災害時の避難場所.....	2
2.1 一次避難場所.....	2
2.2 二次避難場所.....	2
2.3 緊急避難場所.....	2
3. 避難の判断と行動.....	3
3.1 大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報が発表されたとき.....	3
3.2 自主避難の実施（自主避難の目安を超えたときなど）.....	4
3.3 避難準備情報が発令されたとき.....	5
3.4 避難勧告、避難指示が発令されたとき.....	5
3.5 屋外への安全な避難が間に合わないとき・逃げ遅れたとき.....	5
4. ハイウェイサイドタウン地区自治会防災組織.....	7
5. 防災訓練の実施.....	8
6. 資機材の管理.....	8
7. ハイウェイサイドタウン地区避難計画の更新.....	8

1. 避難計画（土砂災害編）の目的

ハイウェイサイドタウン地区は、三方を山に囲まれた立地条件に加え、山地の地質は風化すると脆くなる花崗岩が主体となっており、土石流やがけ崩れなどの土砂災害が発生する危険性がある地区です。地区内の一部は、「土砂災害警戒区域」および「土砂災害特別警戒区域」※に指定されています。

土砂災害は、予測が難しい上、スピードが速くエネルギーも大きいため、甚大な被害が発生しやすい災害であり、特に早めの避難や地域の防災体制の整備などが求められるところとなります。

この避難計画書は、土砂災害発生時の危険性が高まったときの円滑かつ安全な避難に役立つよう、避難に関する情報や避難判断、行動等を取りまとめたものです。

地区住民のみなさんには、この避難計画を参考に、「自分の命は自分で守る」との心構えを持って、日頃の備えや災害時の行動などについて考えたり、家族や近所同士で話し合ってもらえれば、と考えています。

※土砂災害防止法（正式名称「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」）に基づき指定された区域で、土砂災害警戒区域は「土砂災害のおそれがある区域」、土砂災害特別警戒区域は「建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域」です。



撮影：菩提寺まちづくり協議会 笹谷康之様

ハイウェイサイドタウン地区の鳥瞰写真

2. ハイウェイサイドタウン地区における土砂災害時の避難場所

土砂災害時のハイウェイサイドタウン地区における一次避難場所、二次避難場所および緊急避難場所は下記のとおりとなっています。

一次避難場所（自治会館）は、自治会の災害対策本部が設置され連絡体制が整うこと、資機材が備蓄されていることから、まず避難を行う場所となります。二次避難場所（菩提寺まちづくりセンター）は、避難準備情報の発令時に湖南市により開設され、一次避難場所を経由せずに直接避難することも可能です。緊急避難場所（菩提寺 PA・ひかり幼稚園）は、一次、二次避難場所への避難が困難な場合に緊急的、一時的に避難を行う場所です。緊急避難場所については、土砂災害時に緊急的かつ安全に避難できる場所があれば、自治会内で調整の上、適宜追加を行います。

また、日頃から近所同士で話し合っておき、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域に指定されていないお宅に一時的に避難させてもらうことも有効な避難方法です。

なお、地震時・水害時の避難場所となっている「菩提寺北小学校」は、敷地の多くの部分が土砂災害警戒区域に指定されているため、土砂災害時の避難場所からは除きます。

2.1 一次避難場所

避難場所名	所在地	電話番号	備考
ハイウェイサイドタウン自治会館	サイドタウン三丁目 1-27	0748-74-2489	・鍵は区長，自治会長，副会長が保管。 ・大雨時には周辺が 30cm 程度浸水する可能性がある。

2.2 二次避難場所

避難場所名	所在地	電話番号	備考
菩提寺まちづくりセンター	菩提寺西四丁目 2-12	0748-74-3471	

※避難準備情報発令時に開設されます。

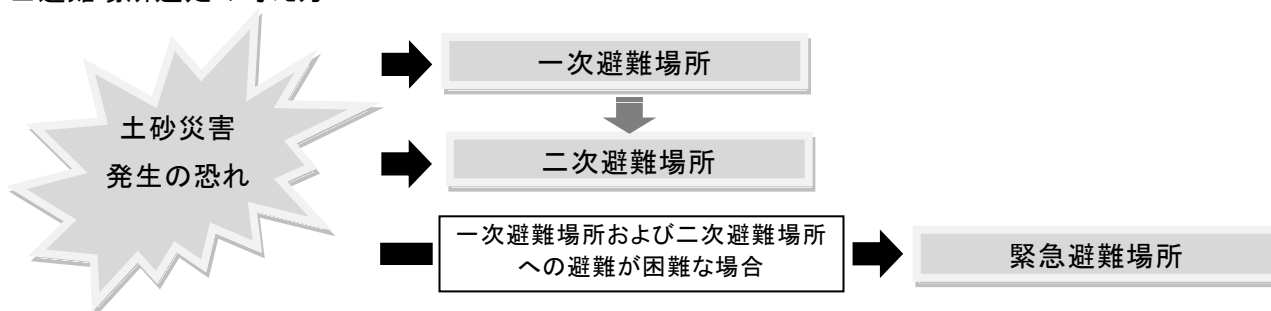
※開設時には、一次避難場所を経由せずに直接避難することも可能です。

2.3 緊急避難場所

避難場所名	所在地	電話番号	備考
光星学園 ひかり幼稚園	菩提寺 328-278	—	・鍵は自治会長が保管予定。
菩提寺パーキングエリア(上り線)	名神高速道路沿い	—	

※一次避難場所および二次避難場所への避難が困難なとき、緊急的に避難を行う場所です。

■避難場所選定の考え方



3. 避難の判断と行動

3.1 大雨警報、洪水警報、土砂災害警戒情報が発表されたとき

- ・テレビやインターネット、携帯電話などで、雨量や土砂災害などに関する情報を取得しましょう。
- ・近くの避難の目安箇所の状況を確認しましょう。ただし絶対に無理をしないように。
- ・非常時持出し品や避難場所などの確認をしておきましょう。
- ・家族の居所を確認しておきましょう。

【参考】防災や避難に関する情報

知りたい情報	情報の所在	取得できる情報
気象情報 雨量情報	滋賀県土木情報防災システム (インターネットやスマートフォンで閲覧可能)	気象情報, レーダー雨量, 雨量観測情報
	気象庁ホームページ	気象情報, レーダー雨量
土砂災害に関する 情報	テレビ	土砂災害警戒情報
	滋賀県土木情報防災システム	土砂災害警戒情報, 土砂災害降雨危険度
湖南市からの お知らせ	湖南 Town-Mail ※事前登録が必要	緊急情報, 不審者情報, 学校情報など
滋賀県からの お知らせ	しらがメール ※事前登録が必要	防災・防犯等の身の回りの危険に関する 情報

【参考】土砂災害降雨危険度とは

土砂災害警戒情報を補足するため地域の詳細な土砂災害発生の危険度を情報提供するもので、「滋賀県土木防災情報システム」で閲覧できます。

滋賀県内が 5km×5km の格子で区切られており、メッシュの色で土砂災害発生の危険度が表れます。危険度は、低い方からレベル 1～レベル 4 の 4 段階となっており、「レベル 3」が避難開始の目安となります。

ハイウェイサイドタウン地区が含まれる格子が「レベル3」になったときに避難開始の目安

ハイウェイサイドタウン地区

レベル1: 今後の雨量に注意
レベル2: 避難準備開始の目安
レベル3: 避難開始の目安
レベル4: 土砂災害発生の恐れ

3.2 自主避難の実施（自主避難の目安を超えたときなど）

- ・日頃から、家族や近所同士で自主避難の目安について話し合っておきましょう。
- ・自主避難の目安を超えた場合は、各自の判断で避難を始めましょう。
- ・自主避難する（した）場合は、自治会長に連絡してください。
- ・自主避難の目安の確認を行うときは、無理をせず、くれぐれも事故に注意してください。

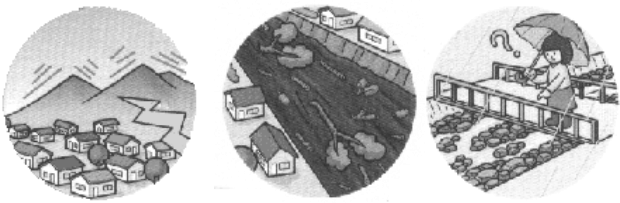

【参考】「土砂災害に強い地域づくりWG(平成 26～27 年度実施)」で出された自主避難の目安

班	ブロック	自主避難の目安
1 班	A-3	<ul style="list-style-type: none"> ・菩提寺北小学校北側の坂道が冠水し、道路表面を水が流れるようになったとき ・〇〇氏と〇〇氏宅横の横断側溝が溢れそうになったとき
	A-4	
	A-7	
2 班	A-8	<ul style="list-style-type: none"> ・笹路川上流のホテル橋の水位が満水の 2/3 程度まで上昇したとき ・笹路川上流(石切場付近)の水量が増えたとき
	A-9	
3 班	B-9	<ul style="list-style-type: none"> ・笹路川の水位 ・坂道が冠水し、道路表面を流水が流れるようになったとき ・山際の側溝があふれたとき ・あずまや通り沿いの側溝があふれたとき
	B-10	
	B-11	
4 班	C-6	<ul style="list-style-type: none"> ・天野川の流量が増えたとき（道路横断部）
	C-7	
	C-8	
5 班	C-1	<ul style="list-style-type: none"> ・小川の谷出口の岩が流れ出したとき ・小川の流量が増えたとき(〇〇氏宅横)
	C-2	
	C-3	
	C-4	
	C-5	

※班は、WGにおける班です。

※自主避難の目安は、防災マップにも表示しています。

【参考】土砂災害の前兆現象(滋賀県HPより)

土石流	がけ崩れ
<ul style="list-style-type: none"> ・山全体がうなっているような音がする時 ・川の流が濁ったり、流木が混じっている時 ・雨が降り続けているのに、川の水が減っている時 	<ul style="list-style-type: none"> ・がけから小石がパラパラと落ちてきた時 ・がけに割れ目ができた時 ・がけから水が湧き出てきた時
	

3.3 避難準備情報が発令されたとき

- ・避難準備情報の発令については、地区放送などはありません。NHK放送や湖南 Town-Mail、しらがメールで情報を確認してください。
※湖南 Town-Mail、しらがメールは事前登録が必要ですので、登録しておきましょう。
- ・いつでも避難できるように各自準備を行ってください。
- ・避難支援者は、市が認定した避難行動要支援者の方の自宅へ集合し、本人、家族の意向を確認した上で、避難支援を行ってください。また、結果を自治会長へ連絡してください。

※避難行動要支援者：高齢者、障害者、乳幼児など、防災施策において特に配慮を要する方（要配慮者）のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方
※避難支援者：避難行動要支援者の避難支援を行う方

3.4 避難勧告、避難指示が発令されたとき

- ・市より、防災無線のサイレンが鳴らされます。5秒間隔でサイレン(15秒間)が3回鳴ります。

【避難勧告、避難指示発令時のサイレンの鳴り方】



- ・NHK放送や湖南 Town-Mail、しらがメールで情報を確認してください。
- ・避難場所へ速やかに避難してください。お年寄りや子どもの避難支援など、地域で協力して避難を行ってください。
- ・基本的には一次避難場所(自治会館)または二次避難場所(菩提寺まちづくりセンター)へ避難してください。これら避難場所への避難が困難な場合は、緊急避難場所を利用してください。
- ・避難が完了した人は、災害対策本部(自治会館・0748-74-2489)へ報告してください。
- ・避難場所には、世帯リストがありますので、各世帯で何名の方が避難したかを報告してください。

3.5 屋外への安全な避難が間に合わないとき・逃げ遅れたとき

- ・屋外への安全な避難が間に合わないと判断したときは、家のできるだけ上階で、山の反対側の部屋に直ちに移動してください。
- ・逃げ遅れたことを自治会役員に報告してください。救助が必要な場合は、119番に通報してください。

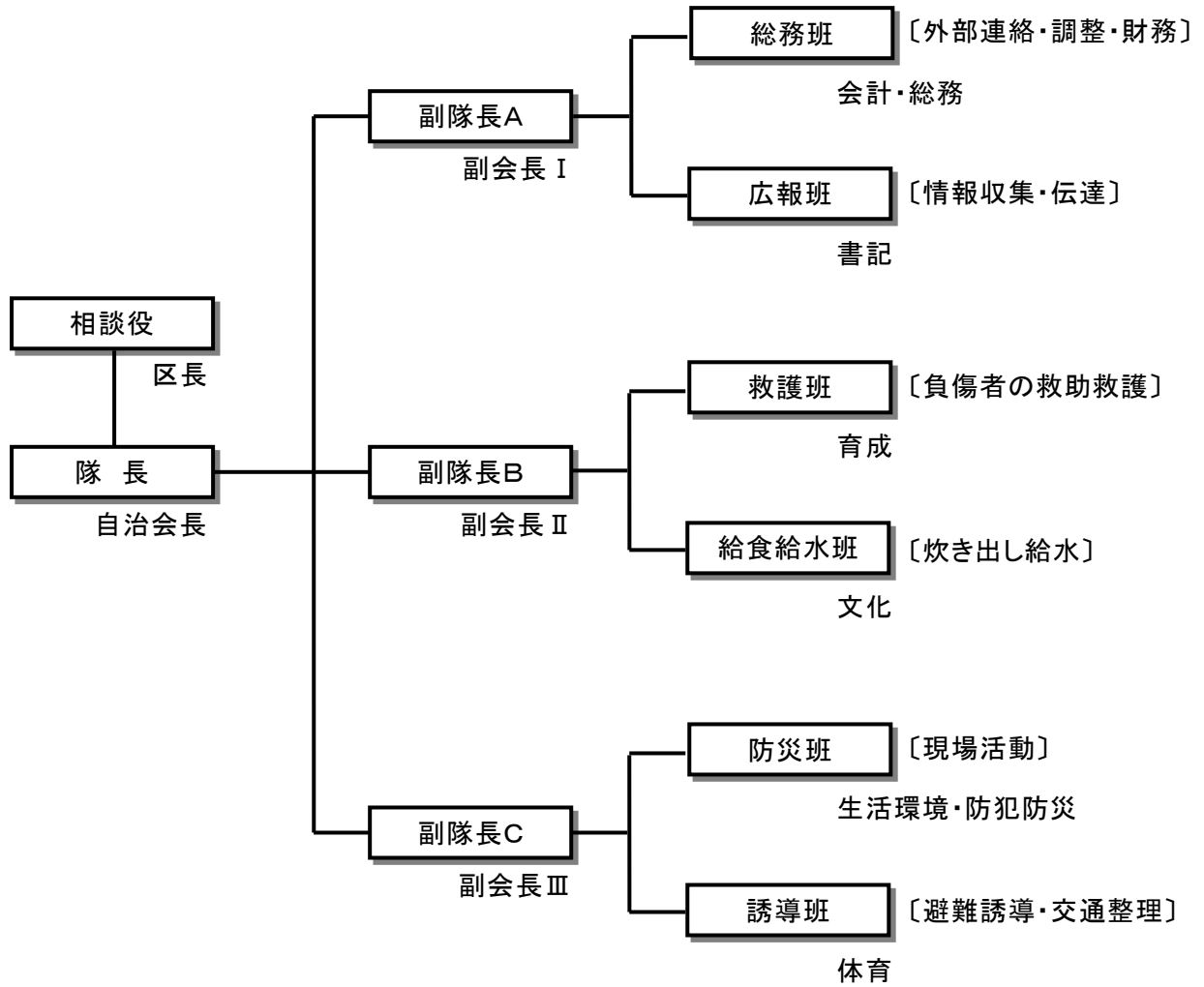
【参考】 湖南省より発令される避難情報と住民が取るべき行動

種類	発令の目安	住民の皆さんがとるべき行動
避難準備情報	<ul style="list-style-type: none"> ○気象条件等により過去の災害の発生例、地形等から判断すれば災害発生のおそれがあり、事態の推移によっては避難の勧告、指示等を行うことが予想される場合 ○避難行動要支援者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況災害の発生する可能性が高まった状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難行動要支援者等、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難場所等への避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始） ○上記以外の者は、家族等との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ○通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○通常の避難行動ができる者は、計画された避難場所等への避難行動を開始
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ○前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ○堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ○人的被害の発生した状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難勧告等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了 ○未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動
屋内での退避等の安全確保措置の指示	<ul style="list-style-type: none"> ○浸水の深さが深刻にならないような小規模河川の洪水や竜巻のように、災害の性質や急激な浸水等発災時の状況によって屋外を移動して立ち退くことによりかえって人の生命等に危険が及ぶおそれがある状況 	<ul style="list-style-type: none"> ○屋内の安全な場所で待機 ○外にいる場合は、速やかに屋内に退避

（「湖南省地域防災計画 平成27年度修正」より）

4. ハイウェイサイドタウン地区自治会防災組織

ハイウェイサイドタウン地区自治会の防災組織（連絡体制）は下図のとおりです。



5. 防災訓練の実施

地域の防災力の向上、維持のため、継続的、定期的に防災マップ・避難計画を用いた防災訓練を行うことが重要です。防災訓練は、降雨時や夜間など様々な条件設定で実施し、課題の洗い出しを行うことにより、徐々にレベルアップを図っていきます。

【防災訓練の基本的な内容】

- ・毎年 10 月頃実施（湖南省防災の日※に合わせて）
- ・防災無線（スピーカー）による避難放送（放送内容を聞き取れなかった場合や聞き漏らした場合・湖南省防災行政無線音声サービス：72-5040 を利用）
- ・避難行動要支援者の避難支援
- ・防災マップを用いた避難
- ・安否確認
- ・参加住民による話し合い（感想、反省など）

※湖南省防災の日

今から約 250 年前の宝暦 6 年（1756 年）9 月 16 日〔太陽暦の 10 月 9 日〕に湖南省妙感寺で、村が流出するという『妙感寺流れ』と呼ばれる山津波（土石流）が発生しました。死者 94 名、流出家屋 57 軒という未曾有の大災害になりました。湖南省では、この 10 月 9 日を「湖南省防災の日」と定め、地域でお互いが協力し、防災への意識を高め合う日としています。

6. 資機材の管理

土砂災害発生時には、必要に応じて自治会館に設置している防災倉庫の資機材を活用しましょう。自治会長は、梅雨期までに防災倉庫等の資機材が台帳（自治会館に保管）どおり整理されているか在庫数を確認し、資材の不足、機材の更新が必要な場合は、適宜資機材の補充を行ってください。

■防災倉庫の鍵番号：●●● ※用がないときは開けないこと

【参考】防災倉庫に備蓄している主な資機材

- 発電機 バール ジャッキ スコップ リヤカー 脚立 拡声器
- 投光器 電動グラインダー カラーコーン ヘルメット 土のう袋 長靴
- 防犯用レインコート 担架 ブルーシート レジャーマット

7. ハイウェイサイドタウン地区避難計画の更新

本避難計画の内容に変更、追加が生じた場合は、自治会役員の確認、承認を得た上で、自治会長が適宜更新を行い、周知することとします。修正の必要に気づいた住民は、自治会役員へ報告してください。また、今後新たな知見や情報が得られた場合などは、適宜計画に反映し、内容の充実や使いやすさの向上を図っていきます。

【巻末資料】ワーキング参加者一覧

この避難計画は、ハイウェイサイドタウン地区の住民のみなさんが、滋賀県および湖南市の支援のもと、平成 27 年 1 月から平成 28 年 1 月までワーキングを実施して作成したものです。

ワーキング参加者は以下のとおりです。

ブロック	役職	氏名	ブロック	役職	氏名
B-6	自治会長	〇〇 〇〇	B-11		〇〇 〇〇
A-3	事務局長	〇〇 〇〇	B-11		〇〇 〇〇
A-4		〇〇 〇〇	C-1		〇〇 〇〇
A-4		〇〇 〇〇	C-1		〇〇 〇〇
A-4		〇〇 〇〇	C-2		〇〇 〇〇
A-7		〇〇 〇〇	C-3		〇〇 〇〇
A-7		〇〇 〇〇	C-3		〇〇 〇〇
A-7		〇〇 〇〇	C-4		〇〇 〇〇
A-8		〇〇 〇〇	C-4		〇〇 〇〇
A-8		〇〇 〇〇	C-5		〇〇 〇〇
A-9		〇〇 〇〇	C-6		〇〇 〇〇
A-9		〇〇 〇〇	C-6		〇〇 〇〇
A-9		〇〇 〇〇	C-6		〇〇 〇〇
A-9		〇〇 〇〇	C-7		〇〇 〇〇
B-7		〇〇 〇〇	C-7		〇〇 〇〇
B-9		〇〇 〇〇	C-8		〇〇 〇〇
B-10		〇〇 〇〇	C-8		〇〇 〇〇
B-11		〇〇 〇〇	C-8		〇〇 〇〇
B-11		〇〇 〇〇			

計 37 名

【作成協力】

滋賀県砂防課

滋賀県甲賀土木事務所

湖南市土木建設課

湖南市危機管理・防災課

ハイウェイサイドタウン地区 避難計画
－土砂災害編－

平成 28 年 3 月
ハイウェイサイドタウン自治会